

ー『キミは何色に見えるかな？みんなの色』の開催ー

私は徳島科学技術高等学校総合デザインコース3年の多田愛維です。

8月21日13時～16時、みんなの図書室 PARKET にて「色覚特性」や「カラーユニバーサルデザイン」についてより多くの人に知ってもらうために『キミは何色に見えるかな？みんなの色』というワークショップを同じく総合デザインコースに所属する4人と共に開催しました。



くわしい内容は、

2025

8/21 木 13:00~16:00

参加費
申し込み

無料

サコッシュ作りのみ申し込みが必要
その他は申し込みなしでご参加OK

図書係
KagikoGirl /
PARKET

－開催した経緯－

以前、「カラーユニバーサルデザインをすすめる会」の方々が本校（徳島科学技術高等学校）で CUD 授業をしてくださいました。そこで、今まで知らなかった色覚特性やカラーユニバーサルデザインについての知識を得ることが出来ました。そして私のように「CUD を知らない人にも知ってもらいたい」「色の見え方の多様性を知ってもらいたい」と考えるようになりました。

私達がみんなの図書室 PARKET の本棚オーナーになっていることもあり、PARKET 事務局の方に相談したところ開催できることになりました。

－実施内容－

参加して下さったのは子供から大人までの幅広い世代の方々でした。

「カラーユニバーサルデザインについて知る」「サコッシュの柄作りで2色配色チャレンジ」「ゲームを使って日常生活の困り事を解決」の3つの体験活動を行いました。

カラーユニバーサルデザインの説明

モニターでスライド画像を映しながらカラーユニバーサルデザインの説明をしました。色覚特性を持つ人の見え方の例を一般色覚の人の見え方と比較することでよりイメージがしやすくなることに気づきました。

更に様々な色覚特性を持つ人の色の見え方を体験できるアプリケーションである「色のシミュレータ」や色覚特性を持つ人の色の見分けにくさを一般色覚の人が体験できるメガネ型フィルタである「バリエントール」で室内の物がどのように見えるのか体験してもらいました。説明するだけでは分かりづらいため、実際体験できるアプリケーションや物の重要性に気づけました。



サコッシュの柄作り体験

PARKETの本棚オーナーさんの力を借りてシルクスクリーンを使ったサコッシュの柄作りで見分けやすい2色を選んでもらいました。

色の知識がない場合、どの色が見分けやすいのか判断するのが難しく、明度差をつけたり、色のシミュレータで確認をしたりすることが大切だと感じました。



色覚体験人生ゲーム

以前私達の先輩が作られた「色覚体験ゲーム～色覚と生きていく多様性 LIFE～」を使い、日常生活にある色覚特性を持つ人の困り事を知ってもらいました。新たな知識を得ている参加者の方々を見て、ゲームはど世代の人にも楽しみながら伝える役割を持つと気づくことが出来ました。



－開催した感想－

それぞれの体験を通して参加者の方々がカラーユニバーサルデザインについて学び、考え、楽しむ姿を見ることが出来ました。初めは色の見分けやすい配色とは何か分からず悩む人が多い印象でしたが、ゲーム体験の時に「確かに、この色の組み合わせは見えづらい」という言葉を聞いて、カラーユニバーサルデザインの知識を得てくれたのだと実感できました。また、帰り際に笑顔で手を振ってくださった参加者の方々の姿を忘れられません。

参加者の方々がこのワークショップで色の見え方の多様性を知るきっかけとなっていれば良いなと考えております。再び開催できるように、今回得られた経験を基盤に更に発展させたいです。



－最後に－

私一人ではこのワークショップを開催することが出来ませんでした。

多大なるご協力をしてくださった阿波グローバルネットカラーユニバーサルデザインをすすめる会の方々、PARKET 事務局の方々に心より感謝を申し上げます。

徳島県立徳島科学技術高等学校

多田愛維、大塚万愛、高野仁希、

中阿地奏、平木雪乃